

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成27年5月7日(2015.5.7)

【公表番号】特表2014-530443(P2014-530443A)

【公表日】平成26年11月17日(2014.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-063

【出願番号】特願2014-537067(P2014-537067)

【国際特許分類】

G 06 F 3/048 (2013.01)

G 06 F 3/0489 (2013.01)

G 06 F 3/0354 (2013.01)

【F I】

G 06 F 3/048 6 5 4 A

G 06 F 3/048 6 1 0

G 06 F 3/048 6 5 6 A

G 06 F 3/033 4 5 3

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月16日(2015.3.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンピュータ・デバイスが、該コンピュータ・デバイス上で実行しているアプリケーションの現在のユーザ・インターフェースの表示中に該コンピュータ・デバイスの側面に搭載されたタッチパッドにおけるタッチ・イベントを検知する工程であって、前記アプリケーションはナビゲーション階層を含み、該ナビゲーション階層は、ホーム・ユーザ・インターフェース層と、複数のサブ・ユーザ・インターフェース層と、複数のユーザ・インターフェース・プランチとを含む、前記工程と、

前記コンピュータ・デバイスが、前記現在のユーザ・インターフェースが対応する特定のサブ・ユーザ・インターフェース層と特定のユーザ・インターフェース・プランチとを判定する工程と、

該タッチ・イベントが進む側方フリック・イベントであり、かつ、前記現在のユーザ・インターフェースの前記特定のユーザ・インターフェース・プランチに次のユーザ・インターフェース層が存在する場合、前記コンピュータ・デバイスが、前記現在のユーザ・インターフェースの前記特定のユーザ・インターフェース・プランチにおける該次のユーザ・インターフェース層にナビゲートする工程と、

該タッチ・イベントが戻る側方フリック・イベントであり、かつ、前記現在のユーザ・インターフェースの前記特定のユーザ・インターフェース・プランチに前のサブ・ユーザ・インターフェース層が存在する場合、前記コンピュータ・デバイスが、前記現在のユーザ・インターフェースの前記特定のユーザ・インターフェース・プランチにおける該前のユーザ・インターフェース層にナビゲートする工程と、

を備える方法。

【請求項2】

前記タッチ・イベントがタップ・イベントである場合、前記コンピュータ・デバイスが、前記ホーム・ユーザ・インターフェース層に直接ナビゲートする工程をさらに備える、請

求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記アプリケーションはウェブ・ブラウザである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記アプリケーションはオペレーティング・システムである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記側面に搭載されたタッチパッドは凹面を備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

装置であって、

ディスプレイと、

側面に搭載されたタッチパッドと、

1つ以上のプロセッサと、

前記プロセッサに接続されているメモリであって、前記プロセッサによって実行可能な命令を含むメモリと、を備える装置であって、

前記命令の実行時、前記プロセッサは、

前記装置上で実行しているアプリケーションの現在のユーザ・インターフェースの表示中に前記装置の側面に搭載されたタッチパッドにおけるタッチ・イベントを検知する工程であって、前記アプリケーションはナビゲーション階層を含み、該ナビゲーション階層は、ホーム・ユーザ・インターフェース層と、複数のサブ・ユーザ・インターフェース層と、複数のユーザ・インターフェース・プランチとを含む、前記工程と、

前記現在のユーザ・インターフェースが対応する特定のサブ・ユーザ・インターフェース層と特定のユーザ・インターフェース・プランチとを判定する工程と、

該タッチ・イベントが進む側方フリック・イベントであり、かつ、前記現在のユーザ・インターフェースの前記特定のユーザ・インターフェース・プランチに次のユーザ・インターフェース層が存在する場合、前記現在のユーザ・インターフェースの前記特定のユーザ・インターフェース・プランチにおける該次の層にナビゲートする工程と、

該タッチ・イベントが戻る側方フリック・イベントであり、かつ、前記現在のユーザ・インターフェースの前記特定のユーザ・インターフェース・プランチに前のサブ・ユーザ・インターフェース層が存在する場合、

前記現在のユーザ・インターフェースの前記特定のユーザ・インターフェース・プランチにおける該前の層にナビゲートする工程と、
を実行するように動作可能である、装置。

【請求項 7】

前記命令の実行時、前記プロセッサは、前記タッチ・イベントがタップ・イベントである場合、前記ホーム・ユーザ・インターフェース層に直接ナビゲートする工程を実行するようにさらに動作可能である、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】

前記ディスプレイはタッチ・スクリーンである、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 9】

前記側面に搭載されたタッチパッドは凹面を備える、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 10】

前記アプリケーションはウェブ・ブラウザである、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 11】

前記アプリケーションはオペレーティング・システムである、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 12】

ソフトウェアを具現化する1つ以上の非一時的なコンピュータ可読記憶媒体であって、
実行時、該ソフトウェアは、

コンピュータ・デバイス上で実行しているアプリケーションの現在のユーザ・インターフェースの表示中に前記コンピュータ・デバイスの側面に搭載されたタッチパッドにおけるタッチ・イベントを検知する工程であって、前記アプリケーションはナビゲーション階層

を含み、該ナビゲーション階層は、ホーム・ユーザ・インターフェース層と、複数のサブ・ユーザ・インターフェース層と、複数のユーザ・インターフェース・プランチとを含む、前記工程と、

前記現在のユーザ・インターフェースが対応する特定のサブ・ユーザ・インターフェース層と特定のユーザ・インターフェース・プランチとを判定する工程と、

該タッチ・イベントが進む側方フリック・イベントであり、かつ、前記現在のユーザ・インターフェースの前記特定のユーザ・インターフェース・プランチに次のユーザ・インターフェース層が存在する場合、前記現在のユーザ・インターフェースの前記特定のユーザ・インターフェース・プランチにおける該次の層にナビゲートする工程と、

該タッチ・イベントが戻る側方フリック・イベントであり、かつ、前記現在のユーザ・インターフェースの前記特定のユーザ・インターフェース・プランチに前のサブ・ユーザ・インターフェース層が存在する場合、前記現在のユーザ・インターフェースの前記特定のユーザ・インターフェース・プランチにおける該前の層にナビゲートする工程と、
を実行するように動作可能である、媒体。

【請求項 1 3】

前記ソフトウェアは、実行時、

前記タッチ・イベントがタップ・イベントである場合、前記ホーム・ユーザ・インターフェース層に直接ナビゲートする工程、を実行するようにさらに動作可能である、請求項 1_2 に記載の媒体。

【請求項 1 4】

前記アプリケーションはウェブ・ブラウザである、請求項 1_2 に記載の媒体。

【請求項 1 5】

前記アプリケーションはオペレーティング・システムである、請求項 1_2 に記載の媒体。

【請求項 1 6】

前記側面に搭載されたタッチパッドは凹面を備える、請求項 1_2 に記載の媒体。